

京都発第 007 号 令和 2 年 3 月 23 日発

各 位 様

京都から伝統の宝を発信する会

発起人

澤 信一郎

高野 義孝

竹田 順一

京都研究会について（ご案内）

記

コロナウイルスの猛威が世界を駆け巡っていますが、これを機にいろいろな社会構造が大きく変わろうとしています。

また、我々研究会が目指してきました、企業的農業を大きく転換する機会となるでしょう。

そのスタートとして、今までのイチゴ栽培を大きく変えるイチゴの品種の視察会を 3 月 27 日に予定をしていましたが、すでにご案内をしたように。コロナウイルスのことで国内出張禁止など様子見でしたが。

桜の便りもちらほらの中、穴倉から出て活作動しないと、経済の血液が止まってしまいます。春の目覚めとともに視察会を行いたく思っております。

世界の農業では、いろいろなファンドが農地を証券化してファンドととして売り出す計画をどんどん進めています、農地は我々にとってもっとも優良な資産ですが、その津波のような波は今度のコロナでより加速して日本を飲み込んでいきます。2030 年には今の食糧の 1.5 倍の食糧がいりますが、世界は食料戦争になる手前です。

以上

【4/7 日火曜日】

オーガニック Nico 西京区大原野イチゴ試験農場

住所:京都市西京区大原野灰方町 128 番地

電話:0758-74-3100

アクセス:<http://organic-nico.com/access.php>

(JR 桂川駅に **13:30 集合**して、そこからタクシーで向かうことを考えています)

- ・**午後 14 時 30 分**:種子繁殖イチゴななつぼし視察。2023 年種苗登録予定。
- ・オーガニック Nico 中村新代表。

イチゴななつぼしII(ニックネーム、ゴマタロウ、私の愛犬と愛ネコの名前)の栽培特性の講演。

- ・タケダイチゴ【ななつぼしI】、10万本の苗の販売について。
- ・研究会の今後の事業スキームの協議。

「懇親会について」

今回は研究会としての懇親会はコロナウイルスの件もありますから、自粛します。
個別に少人数での会は各自でよろしく願います。

事務局 竹田順一